

可児市議会事業別評価シート(外部評価シート)

外部評価者 NPO法人 縁塾

1. 事業概要(事業実施前に議会で記入)

事業名	子育て世代による意見交換会
実施日	平成31年1月25日(金)
場所	子育て健康プラザmano
目的	子育て世代の女性との意見交換により、若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちづくりにつなげる。
主な内容	議員のファシリテートによる子育て世代の女性の意見交換会を行い、特に今年度オープンしたマーノの今後の運営の参考となるアイデアを得ることで、市の子育て施策への参考とする。

2. 評価指標(事業実施前に議会で設定)

指標内容		単位	前回(H28)	H30
			前回目標 前回実績	今回目標 今回実績
成果指標	意見交換して良かったと回答した割合	%	-	80
	意見交換が十分にできたと回答した割合	%	-	100
参考値	参加者数	人	-	80
			20	86
			31	25

※成果指標(アウトカム)の設定が難しい場合は、参考値として活動指標(アウトプット)を記入。

3. 評価項目・評価結果(①事業実施前に項目を議会で設定、②事業実施後に一次評価を議会で記入、③一次評価後に二次評価を外部評価者で記入)

項目	一次評価(自己評価)		二次評価(外部評価)	
	評価理由等	評価	評価理由等	評価
事業の目的や内容、評価指標等が事前に全議員に共有されていたか	議会改革特別委員には繰り返し説明がなされ、また議会全員協議会においても説明があり、目的や内容、評価指標の共有はされていた。一方で「行政への単なる要望にならない」意見交換が徹底されていなかったのでは。	B	一次評価から、目的や内容、評価指標の共有は概ねされていたといえる。	B
子育て世代の市民の参加を促すための周知活動は十分に行われたか	縁塾の協力により、フェイスブックをきっかけに参加された方や参加者同士のロコミなどもあったようだが、一般参加を増やすためのひと工夫や気配り(チラシへのマーノの住所や地区の掲載など)も必要であった。	B	参加者数が目標人数を上回っており、また外国籍の方の参加もあった。以上より、効果的な周知活動があったといえる。一方で議会及び議員各自の周知活動により参加が増えたとは必ずしも言えず、周知方法は改善の余地がある。	A
参加者が話しやすい雰囲気や進行により、多くの意見聴取につながったか	テーマへの関心が高かったためか、活発な意見交換ができ、多くの意見聴取につながった。	A	手作りのお菓子やハーブティを用意したことは場の雰囲気づくりに対する配慮が感じられ参加者の笑顔も見られて良かった。参加者からは「議員や行政職員が大勢いて雰囲気が硬く緊張した」という声が多くあり、アイスブレイクを丁寧にやる必要を感じた。感想発表の内容はグループ毎に差がありアイデアまでまとめているところや意見を出しただけで終わってしまったところもあったので、進行方法に差があったと思われる。成果指標から、意見交換に対する参加者からの満足度が高い点は高く評価できる。	A
時間配分、内容(テーマ設定を含む)等は妥当であったか	若い世代に即したテーマであった。時間配分も適切であったが、もっと意見交換をしたいという雰囲気もあった。なお、オリエンテーションは時間内に組み込んでおくべきであった。	A	全体的に終始緊張した様子が見られたので、最初のアイスブレイクの時間配分ややり方に工夫が必要だと感じた。議員や行政と、子育て世代の女性とのギャップを埋めるための配慮がまだ不十分であるといえる。	B
聴取した意見について、適切な対応(市民への公表や議会で取り組むべき課題か判断するなど)を行っているか	聴取した意見をグループごとで集約し、資料として取りまとめ議会で共有すべき。事前に聴取した意見の取り扱いを決めておく必要性については今後の課題である。	B	一次評価から、課題は多くあるように感じる。また、参加者からは、ただ意見を聞いてもらうだけではなくて出したアイデア等がどう反映されるかを今後気に掛けていきたいという声があったので、現時点では未だ適切な対応がされているとは言い難い。	B

総合評価	市への要望もあったが、マーノの今後の運営の参考となる改善提案も出された。また利用者の現状把握もできた。職員の参加やワールドカフェ形式での進行も有効だと思われる。	A	成果指標や参加者数が良好な数字という点は高く評価できるといえる。ただし目的達成に向けては、本事業だけでは現時点では未だ不十分である。参加者の今回の意見やアイデアをどう活かしていくかが最重要であり、今後、継続性のある事業を丁寧に行うことが望まれる。	B
------	--	---	---	---

※評価区分は、「S「期待以上」、A「期待どおり」、B「概ね期待どおり」、C「期待に満たない」の4段階

4. 事業の分析・次期改善点等(二次評価後に議会で記入)

アンケート結果から、意見交換に対する参加者の満足度が高い点は評価できる。一方で参加者から「議員や行政職員が大勢いて雰囲気は硬く緊張した」という声が多数あり、意見が出しやすい雰囲気づくりに配慮した実施方法を検討するべきである。また、参加者から出た意見やアイデアをどう活かしていくかが重要であり、今後継続性のある事業を丁寧に行う必要がある。